



公明党 松澤 堅二

子どもの貧困対策に医療機関などとの情報共有を

●子どもの貧困対策について
Q 新たに開所する保健福祉プラザ内に子育て包括支援センターが設置される。貧困のシグナルの早期発見や医療機関などの情報共有が可能になると思うが、市の考えは。

A プラザに妊娠・出産・子育て総合相談窓口を開設し、専任の保健師と社会福祉士を配置することで、相談・支援体制の充実や関係機関との連携強化を図れると考えている。

Q 窓口での相談後は情報共有が重要だと思いが、保育園や学校との連携はどうか。

A 生活困窮者支援担当や保育園、学校関係者などで構成する要保護児童対策協議会では、情報共有と支援の方向

性の検討を行っている。
●若者の夢へのチャレンジ応援について
Q 若者の夢へのチャレンジを応援する取り組みを検討し、推進する考えはないか。

A 若者の夢の実現を行政がどのように支援できるか、さらに、市の活性化や郷土愛の醸成などにつなげていくか、広い視点で研究していく。

Q 若者の活動や行動のきっかけづくりや仲間づくりを目的とする支援を考えては。

A 高校生の声を聞く機会や場を設け、意見や希望を集約しながら、どのような手法が若者の仲間づくりや社会参加への機運を高めることに有効かを検証していきたい。



新公会 比留川 政彦

多様化する高齢者のニーズをどう把握していくのか

●高齢者の生きがいづくりに係る本市の取り組みについて
Q 高齢化が進む中、健康意識や世代間交流などへのニーズが高まっていると感じるが、年代により多様化する高齢者のニーズを把握するため市はどう取り組んでいるか。

A 高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画の策定時にアンケート調査を実施し、高齢者のニーズや保健福祉施策のさまざまな事業の認知度を把握している。

Q 社会参加を望む高齢者と人材を募集したい方を結びつける事業は、高齢者の社会参加の促進が期待されるが、市の取り組みは。

A 本年9月1日、高齢介

護課内にアクティブ・シニア応援窓口を開設し、高齢者の社会参加促進に取り組んでいる。今後、元気高齢者がさまざまな場面で活躍できるように、一層取り組んでいきたい。

Q 高齢者福祉文化展で展示している高齢者が制作した作品の譲渡を望む方がいると思うが、制作意欲を高めるためにも制作した作品と市民のマッチングを考えないか。

A 作品と市民のマッチングを進めるだけでなく、アクティブ・シニアの活動自体を活性化するためのPR活動にも力を入れていきたいと考えており、双方の希望がかなうような仕組みの構築などを検討していきたい。



あやせ未来会議 増田 淳一郎

地震による停電時に透析の施設はどう対応するのか

●自然災害に対する備えについて
Q 透析施設は、地震による停電で、自家発電装置がない場合にどう対応するのか。

A とうめい綾瀬腎クリニックは、災害時には系列の厚木市内の病院で対応するため、自家発電装置や貯水タンクの設備はない。綾瀬厚生病院は、自家発電装置はあるが、透析機器との接続はされておらず、貯水タンクの整備もされていないと聞いている。透析医療は、日常生活の継続に必要不可欠な医療であるため、災害発生時の受診環境確保に関し、市内外の医療機関との調整を図りたい。

Q 関東大震災クラスの、

巨大地震の発生を想定した場合、仮設住宅の必要戸数は。
A 地震の揺れによる全壊戸数の30%に当たる2769戸と、火災による焼失戸数の30%に当たる1641戸を加え、4410戸が必要となる。

Q 土砂災害から人命を守るため、崖などがある区域への、土砂災害警戒区域指定は必要ないか。

A 県は、平成26年に市内41区域100斜面を土砂災害警戒区域に指定している。さらに30年度から、順次土砂災害警戒区域を精査し、住民の生命または身体に著しい危害を及ぼす恐れがあると認められる区域を、特別警戒区域に指定する予定と聞いている。



日本共産党 松本 春男

落合・吉岡土地区画整理事業の正確な意向調査を

●落合・吉岡土地区画整理事業の見直しを
Q 権利者に対し、事業のメリット・デメリットを明確にした上で、正確な意向調査を実施しないか。

A 現在、地区別意見交換会の際のアンケートにより、土地利用の意向や要望を伺っている。今後、権利者の意向に基づいた事業計画を作成し、最終的な同意を得たい。

Q 落合・吉岡土地区画整理事業で、区域内の土地が市街化区域に編入された場合、

固定資産税はどう上がるのか。
A 農地の場合は、市街化区域編入後3年間は税額の10分の9、4年目は3分の2が減免される。5年目以降は100%の課税となる。

Q 事業で損失が出た場合、誰が負債の責任を取るのか。

A 当該事業は、区画整理組合が施行する事業であるため、区画整理組合の責任となる。

●危険なオスプレイを含む事故について
Q 平成29年9月に厚木基地で空母艦載機の着陸訓練が



実施されたが、市の対応は。

A 9月1日、国から同日より厚木基地での空母艦載機着陸訓練実施の通告を受け、市長は直ちに国や基地司令官に対し訓練の即刻中止の申し入れを行った。7日には県と基地周辺9市により二度と基地で訓練を行わないよう国に申し入れを行っている。



志政あやせ 金江 大志

東京2020大会を活用し市への集客を考えないか

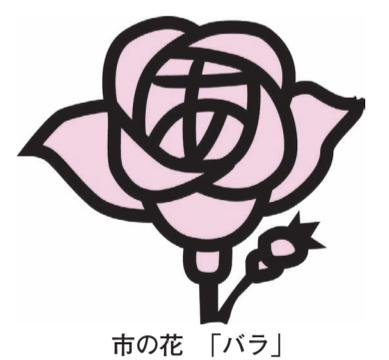
●東京オリンピック・パラリンピックに向けた我がまちの取り組みについて
Q 東京オリンピック・パラリンピック開催は、観光客などによる経済効果が期待されるが、市でも経済を向上させる取り組みを考えないか。

A 東京オリンピック・パラリンピックのみに特化した事業は考えていないが、将来に向けて継続して実施すべき事業や施策を、事業効果や費用対効果などを踏まえながら検討していきたい。

Q 近隣の藤沢市で開催するセーリング競技は、子どもたちが世界の一流選手に触れられることで、スポーツへの関心を持つ重要な機会と考えられる。この機会を市のスポーツ振興につなげる考えは。

A 大会成功に向け、県や関係機関などが一体となった取り組みに積極的に参加し、イベントなどを通じて市民の関心を高めることで、市の生涯スポーツ振興や競技スポーツ向上につながると考えている。

●企業誘致計画について



市の花「バラ」

Q 落合・吉岡地区、早川中央地区の企業誘致を、今後、どう進めていくのか。

A 両地区では、工業系新市街地の整備推進のため、組合施行による土地区画整理事業の実施に向けた取り組みを行っている。今後も、準備会や事業協力が一体となって事業に取り組んでいきたい。

「あやせ市議会だより」は、直接お届けしています
 あやせ市議会だよりは、市シルバー人材センターの会員が配布しています。
 お手元に届かない場合は、同センター（☎0467-70-3088）へご連絡ください。
 次号は、平成30年2月15日発行です。

詳しい内容は会議録・HPで
 ホームページ
 市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。
 綾瀬市議会 検索
 なお、9月定例会の会議録は、11月下旬に閲覧できる予定です。